

## 高木復興大臣、長島復興副大臣、若松復興副大臣が浪江町内を視察しました

長島復興副大臣（2月22日）

津島活性化センター・大柿ダム・北部衛生センター・陶芸の杜おおぼり・JR浪江駅・大平山霊園・請戸漁港などを視察しました。  
また、視察に併せて右記の要請を行いました。

### 【要請の内容】

- 帰還困難区域の拠点を中心とした除染計画の早期策定
- 森林における除染を含む線量低減の取組み
- イノベーションコースト構想実現への協力要請
- 請戸漁港の市場整備に関する支援要請 など



大柿ダム視察の様子



請戸漁港視察の様子

高木復興大臣・若松復興副大臣（2月28日）

いこいの村なみえ・JR浪江駅・大平山霊園・請戸漁港などを視察し、浪江町役場内で要望書の提出と意見交換を行いました。

### 【要望書の内容】

- 帰還困難区域の除染計画策定（早期着手と着実な実施）
- 森林の線量低減に関する措置（ロードマップの策定と着実な実施）
- 産業廃棄物処理の適切な実施
- 町内一次立入のための宿泊施設確保に向けた支援
- JR常磐線の早期開通／駅前整備に向けた支援
- 大柿ダムの24時間モニタリング体制整備
- 請戸漁港再生に向けた支援
- 医療関連（人的支援）
- 介護事業者の再開支援
- 町内再開事業者に対するランニングコスト支援
- イノベーションコースト構想実現

※要望書の詳しい内容については、町ホームページをご参照ください。



いこいの村なみえ視察の様子



浪江駅周辺視察の様子



請戸漁港視察の様子



要望書提出

☎ 復興推進課復興企画係 TEL 0243(62)4731

# みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

## 浪江町国民健康保険運営協議会（委嘱状交付式）を開催しました

浪江町国民健康保険運営協議会および委嘱状交付式が3月3日、役場二本松事務所で行われました。協議会では、宮口副町長から浪江町国民健康保険の運営に関する概要の説明が行われ、「今後とも、必要な財源の確保を図りながら、被保険者の方々の負担の軽減と健康の保持・増進に努めてまいりますので、皆さま方のご理解とご協力をお願いいたします」と挨拶を述べました。

### ■委員名簿（敬称略）

【被保険者代表】 瀬賀範真（会長）、佐藤照嗣、荒 洋子、蒔田みどり

【保険医または薬剤師代表】

佐川安彦、手塚 徹、今村真哉、鎌田正良

【公益代表】

田村友正（副会長）、近藤京子、金澤文隆、鈴木芳徳  
（任期：平成27年11月1日～平成29年10月31日）

\*浪江町国民健康保険運営協議会とは、被保険者代表、保険医または保険薬剤師の代表、および公益代表の方、各4名の計12名で構成され、浪江町国民健康保険の運営に関する町からの諮問事項について審議を行っていただく機関です。



☎ 健康保険課国保年金係 TEL 0243(62)0179

## 原発事故による損害賠償でお困りの方へ ADRセンターが無料で和解仲介します

東京電力の提示金額に納得できない方など、どなたでも当センターをご利用頂けます。現在の申立て以外の損害についても、申立て可能です。また、裁判よりも手続が簡便かつ無料<sup>※1</sup>で、ご本人様お一人でも申立てができます。証拠書類がない場合でも申立て可能であり、仲介手続きの中で、センターの調査官が不明な点を丁寧にお伺いします。

手続きが終了している16,490件のうち、8割強である13,739件<sup>※2</sup>が和解成立に至っています。

※1 送料等の実費は発生します。 ※2 平成28年2月末現在の件数です。

### 最近の和解事例

申立会社が所有する浪江町（避難指示解除準備区域）の土地の財物損害について、登記上の地目は農地等となっていたが、申立会社が上記土地を取得した不動産競売手続における評価書で現況宅地との評価がされていたことに鑑み、上記評価書における評価額（宅地並み）に基づき算定された賠償額の和解が成立した事例（和解事例920）。

※和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用される基準ではありません。

### お問い合わせ先

原子力損害賠償紛争解決センター 無料電話 0120(377)155

# 町の農業・水産業 再生に向けて

町産業振興課農林水産係 0240(34)0245



鈴木酒造の作業風景



希望のお酒

浪江の農産品の加工が  
広がっています

## ○日本酒

浪江町で収穫された米が日本酒に加工され、3月11日に合わせて浪江町民を受け入れる全国約500の自治体に対して、町長の手紙とともに贈呈されました。

加工された米は、平成27年に酒田農事復興組合が栽培したコシヒカリです。全量全袋検査により、全て食品衛生法上の放射性物質の基準値を下回り、出荷・販売されています。

日本酒は昨年引き続き、浪江町から山形県に避難中の㈱鈴木酒造に製造していただいたもので、「希(のぞみ)」「望(ねがい)」という名前が付けられています(※「希望」のお酒は非売品です)。

また、パッケージに描かれる「希望」の文字は、町の書道家が書いたものです。

## ○凍みダイコン、甘酢漬

浪江町で収穫されたダイコンが凍みダイコンや甘酢漬に加工され、3月4日〜6日に福島空港で行われた「大堀相馬焼 春の



浪江産の凍みダイコン

新作展」の併設ブースや、南相馬市のスーパーなどで販売されました。

凍みダイコンなどは、浪江町幾世橋地区で野菜等を栽培するNPO法人Jinが収穫、加工したものです。ダイコンは県による放射性物質検査により安全が確認され、昨年12月より出荷・販売されています。

今後町民協働による農産品の加工の取組みを進めながら、浪江の農産品が安全でおいしいものであることをPRしていきます。

\*\*\*\*\*



浪江町水産業協働委員会の最終会議の様子

## 浪江町の新しい水産業 デザイン実現化事業の 最終会議が開かれた

2月24日、浪江町水産業協働委員会の最終会議が開かれ、町が平成25年度から行ってきた「浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業」の報告と、これからの

請戸の水産業の方向性が示されました。報告では、「常

磐もの」と呼ばれた浪江の水産品のブランド復活に向け、放射性物質の検査や衛生管理の体制構築、荷さばき場の建設などの提案がなされました。

4月以降は、本事業での提案されたことを具体的に進め、一日も早い請戸漁港の再開を目指していきます。水産業の復興の道筋が示されたこ



荷さばき場のイメージ図

とを受け、委員の一人である漁協関係者は「早く請戸から出漁したい」と、熱意を述べました。

## 浪江町花卉研究会が東京都中央卸売市場を視察しました

浪江町花卉研究会は2月23日、24日の2日間、東京都中央卸売市場 大田市場の視察を行いました。

視察に参加した6名の研究会メンバーは、JA全農福島職員の案内のもと、花の「競り」の見学や市場担当者(㈱フラワーオークションジャパン、㈱大田花き)との意見交換を行いました。

競りの見学では、切り花や花木の値段のつけられ方やどのような切り花が高価格で取引されるのかを学びました。

また、市場担当者からは、「5年、10年と共に頑張っていきたい」と力強い応援の言葉をいただきました。



競り見学の様子

ここからは広告です。

## 大型ドライバー大募集!!

車が好きな方・運転が好きな方  
大型トラックドライバーになりませんか?

正社員/給与:会社規程により優遇/各種社会保険完備

※随時面接受付中 まずはお電話ください。

あなたの力が必要です!



## 初心者歓迎!

安全輸送で社会に貢献

浪江貨物自動車株式会社

福島県福島市成川字上谷地 30

TEL 024-545-7711

http://www.namiekmt.com/

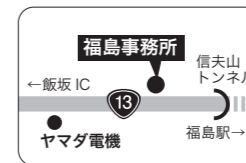
## ご自宅のお悩みございませんか?

修繕 片付け 清掃 etc... ご相談ください!

従業員  
随時募集中!

誠意と技術で奉仕する  
東北工業建設株式会社

本社 〒979-1502 浪江町大字藤橋字原 59-1  
福島事務所 〒960-8252 福島市御山字検田 58-1  
TEL.024-573-4127 FAX.024-573-4128



お問合せは  
担当のおぞきまで  
お気軽にお電話下さい。  
024-573-4127

